

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公表番号】特表2005-508146(P2005-508146A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-506308(P2003-506308)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/195	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/569	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	31/04	
C 0 7 K	14/195	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/569	F
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	37/02	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年10月13日(2009.10.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記のヌクレオチド配列：

(a) 配列番号 1 に示すヌクレオチド配列と少なくとも 90 % 同一であるヌクレオチド配列、

(b) 配列番号 1 に示すヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列、及び

(c) 配列番号 1 に示すヌクレオチド配列

から選択されたヌクレオチド配列からなる、分離されたポリヌクレオチドであって、前記ポリヌクレオチドは、配列番号 2 を備えるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能なポリペプチドをコードし、コードされるポリペプチドが、宿主内でモラクセラカタラーリスに対する免疫反応を誘発することが可能である、分離されたポリヌクレオチド。

【請求項 2】

下記のヌクレオチド配列：

(a) 配列番号 3 に示すヌクレオチド配列と少なくとも 90 % 同一であるヌクレオチド配列、

(b) 配列番号 3 に示すヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列、及び

(c) 配列番号 3 に示すヌクレオチド配列

から選択されたヌクレオチド配列からなる、分離されたポリヌクレオチドであって、前記ポリヌクレオチドは、配列番号 4 を備えるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能なポリペプチドをコードし、コードされるポリペプチドが、宿主内でモラクセラカタラーリスに対する免疫反応を誘発することが可能である、分離されたポリヌクレオチド。

【請求項 3】

前記ポリヌクレオチドは発現制御部位と機能が発現するように連結されている、請求項 1 又は請求項 2 に記載の分離されたポリヌクレオチドを備えるベクター。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のベクターによりトランスフェクトされた宿主細胞。

【請求項 5】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の分離されたポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドを生成する方法であって、前記方法は、前記ポリペプチドの発現に適した条件下で、請求項 4 に記載の宿主細胞を培養する工程を備える、ポリペプチドの生成方法。

【請求項 6】

下記のポリペプチド：

(a) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列と少なくとも 90 % 同一であるアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(b) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(c) 配列番号 2 に示すアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(d) 請求項 1 記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチド、

(e) N 末端のメチオニン残基が欠失した上記 (b) に記載のポリペプチド、及び

(f) 分泌アミノ酸配列が欠失した上記 (b) に記載のポリペプチド

から選択された、分離されたポリペプチドであって、

前記ポリペプチドは、配列番号 2 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能であり、前記ポリペプチドは、モラクセラカタラーリスに対する免疫反応を誘発することが可能である、分離されたポリペプチド。

【請求項 7】

下記のポリペプチド：

(a) 配列番号 4 に示すアミノ酸配列と少なくとも 90 % 同一であるアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(b) 配列番号 4 に示すアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(c) 配列番号 4 に示すアミノ酸配列を備えるポリペプチド、

(d) 請求項 2 記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチド、

(e) N 末端のメチオニン残基が欠失した上記 (b) に記載のポリペプチド、及び

(f) 分泌アミノ酸配列が欠失した上記 (b) に記載のポリペプチド

から選択された、分離されたポリペプチドであって、

前記ポリペプチドは、配列番号 4 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能であり、前記ポリペプチドは、モラクセラカタラーリスに対する免疫反応を誘発することが可能である、分離されたポリペプチド。

【請求項 8】

免疫原性を有する断片を備える分離されたポリペプチドであって、前記免疫原性を有する断片は、配列番号 2 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、前記免疫原性を有する断片は、配列番号 2 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、分離されたポリペプチド。

【請求項 9】

免疫原性を有する断片を備える分離されたポリペプチドであって、前記免疫原性を有する断片は、配列番号 4 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、前記免疫原性を有する断片は、配列番号 4 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、分離されたポリペプチド。

【請求項 10】

2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片を備えるキメラポリペプチドであって、前記 2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片のそれぞれは、配列番号 2 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、キメラポリペプチドを形成するように前記 2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片は連結され、前記キメラポリペプチドは、配列番号 2 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、キメラポリペプチド。

【請求項 11】

2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片を備えるキメラポリペプチドであって、前記 2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片のそれぞれは、配列番号 4 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、キメラポリペプチドを形成するように前記 2 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片は連結され、前記キメラポリペプチドは、配列番号 4 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、キメラポリペプチド。

【請求項 12】

1 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片を備えるキメラポリペプチドであって、前記 1 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片は、配列番号 2 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、前記キメラポリペプチドは、配列番号 2 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、キメラポリペプチド。

【請求項 13】

1 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片を備えるキメラポリペプチドであって、前記 1 又はそれよりも多くの免疫原性を有するポリペプチド断片は、配列番号 4 に示すアミノ酸配列の少なくとも 20 個の隣接するアミノ酸を備え、前記キメラポリペプチドは、配列番号 4 のアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する抗体を誘発することが可能である、キメラポリペプチド。

【請求項 1 4】

請求項 6 に記載のポリペプチドと、薬学的に受容可能な担体、又は希釈剤とを備える薬剤組成物。

【請求項 1 5】

さらに薬学的に受容可能なアジュバントを備える請求項 1 4 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 6】

モラクセラ (*Moraxella*) 感染を受けやすい宿主におけるモラクセラの感染の予防上又は治療上の処置用の薬の製造のための請求項 6 に記載の分離されたポリペプチドの使用。

【請求項 1 7】

中耳炎、副鼻腔炎、持続性の咳、急性喉頭炎、化膿性角膜炎、又は新生児 (*neonatorum*) の結膜炎の予防上又は治療上の処置用の薬の製造のための請求項 6 に記載の分離されたポリペプチドの使用。

【請求項 1 8】

モラクセラの感染を受けやすい宿主におけるモラクセラの感染の予防上又は治療上の処置用の請求項 1 4 又は請求項 1 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 1 9】

中耳炎、副鼻腔炎、持続性の咳、急性喉頭炎、化膿性角膜炎、又は新生児 (*neonatorum*) の結膜炎の予防上又は治療上の処置用の請求項 1 4 又は請求項 1 5 に記載の薬剤組成物。

【請求項 2 0】

配列番号 2 に示すアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する、分離された抗体、又はその抗原結合断片。

【請求項 2 1】

配列番号 4 に示すアミノ酸配列からなるポリペプチドに特異的に結合する、分離された抗体、又はその抗原結合断片。

【請求項 2 2】

下記の工程；

(a) 請求項 2 0 又は請求項 2 1 記載の抗体、又はその抗原結合断片を宿主由来の生体サンプルと共にインキュベートして、混合物を生成する工程、及び

(b) モラクセラの存在を示す混合物中で、特異的に結合した抗体又は結合した抗原結合断片を検出する工程；

を備える、モラクセラの検出方法。

【請求項 2 3】

下記の工程；

(a) 請求項 6 又は請求項 7 に記載のポリペプチドを生体サンプルと共にインキュベートして、混合物を生成する工程、及び

(b) モラクセラに特異的な抗体の存在を示す混合物中で、特異的に結合したポリペプチドを検出する工程；

を備える、前記抗体を含むか又は含むと思われる生体サンプルにおけるモラクセラ抗原に特異的な抗体の検出方法。

【請求項 2 4】

請求項 6 又は請求項 7 に記載のポリペプチドを備える、モラクセラ感染の検出又は診断用のキット。